1節 整式の乗法・除法と分数式

1 整式の乗法と因数分解

2次式の乗法公式と因数分解については数学Ⅰで学んだ。ここでは，3次式の乗法公式と因数分解について考えてみよう。

3次式の乗法公式

例 1

$$\begin{aligned}(a+b)^3 &= (a+b)(a+b)^2\\ &= (a+b)(a^2+2ab+b^2)\\ &= a(a^2+2ab+b^2)+b(a^2+2ab+b^2)\\ &= a^3+2a^2b+ab^2+a^2b+2ab^2+b^3\\ &= a^3+3a^2b+3ab^2+b^3\end{aligned}$$

問 1　$(a-b)^3$ を展開せよ。

次の3次式の乗法公式が成り立つ。

3次式の乗法公式 (1)

$\boxed{1}$　$(a+b)^3=a^3+3a^2b+3ab^2+b^3$

$\boxed{2}$　$(a-b)^3=a^3-3a^2b+3ab^2-b^3$

例 2

(1)　$(x-2)^3 = x^3-3\cdot x^2\cdot 2+3\cdot x\cdot 2^2-2^3$
$\qquad = x^3-6x^2+12x-8$

(2)　$(3x+2y)^3 = (3x)^3+3\cdot(3x)^2\cdot 2y+3\cdot 3x\cdot(2y)^2+(2y)^3$
$\qquad = 27x^3+54x^2y+36xy^2+8y^3$

問 2　次の式を展開せよ。

(1)　$(x+1)^3$　　(2)　$(3x-1)^3$

(3)　$(x+10y)^3$　　(4)　$(2x-5y)^3$

また，次の乗法公式も成り立つ。

3次式の乗法公式 (2)

3　$(a+b)(a^2-ab+b^2)=a^3+b^3$

4　$(a-b)(a^2+ab+b^2)=a^3-b^3$

問 3　上の公式 3, 4 が成り立つことを示せ。

問 4　次の式を展開せよ。

(1)　$(x+7)(x^2-7x+49)$　　(2)　$(5x-3y)(25x^2+15xy+9y^2)$

3次式の因数分解

上の乗法公式 3, 4 を逆に利用することにより，次の公式が成り立つ。

3次式の因数分解

5　$a^3+b^3=(a+b)(a^2-ab+b^2)$

6　$a^3-b^3=(a-b)(a^2+ab+b^2)$

例 3　(1)　$x^3+125=x^3+5^3=(x+5)(x^2-x\cdot5+5^2)$

$$=(x+5)(x^2-5x+25)$$

(2)　$27x^3-8y^3=(3x)^3-(2y)^3$

$$=(3x-2y)\{(3x)^2+3x\cdot2y+(2y)^2\}$$

$$=(3x-2y)(9x^2+6xy+4y^2)$$

問 5　次の式を因数分解せよ。

(1)　x^3+1　　(2)　x^3-8　　(3)　$64x^3-125y^3$　→ p.19 問題2

例 4　$x^6-y^6=(x^3)^2-(y^3)^2=(x^3+y^3)(x^3-y^3)$

$$=(x+y)(x^2-xy+y^2)\times(x-y)(x^2+xy+y^2)$$

$$=(x+y)(x-y)(x^2+xy+y^2)(x^2-xy+y^2)$$

問 6　次の式を因数分解せよ。

(1)　x^6-64y^6　　(2)　x^6+7x^3-8

2 二項定理

パスカルの三角形

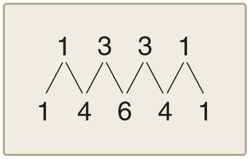
$(a+b)^2$，$(a+b)^3$ を展開すると次のようになる。

$$(a+b)^2=a^2+2ab+b^2,\qquad (a+b)^3=a^3+3a^2b+3ab^2+b^3$$

これをもとに，$(a+b)^4$ を展開してみよう。

$$\begin{aligned}(a+b)^4&=(a+b)(a+b)^3\\&=(a+b)(a^3+3a^2b+3ab^2+b^3)\\&=1a^4+3a^3b+3a^2b^2+1ab^3\\&\qquad+1a^3b+3a^2b^2+3ab^3+1b^4\\&=\ a^4+4a^3b+6a^2b^2+4ab^3+b^4\end{aligned}$$

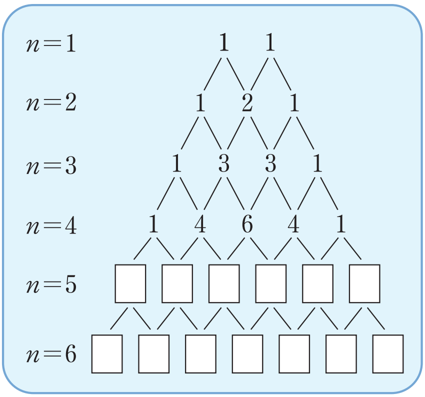
よって，$(a+b)^4$ の展開式において，両端の1以外の係数は，$(a+b)^3$ の展開式における隣り合った係数1と3，3と3，3と1のそれぞれの和として得られることがわかる。



問 7　$(a+b)^5$ の展開式を求め，この展開式の係数が $(a+b)^4$ の展開式の係数から，上と同様の考え方により得られることを確かめよ。

$(a+b)^n$ の展開式の係数を次々と求め，右のように並べたものを **パスカルの三角形** という。

問 8　右のパスカルの三角形で，$n=5$，$n=6$ の行の空所をうめ，$(a+b)^6$ の展開式を求めよ。



二項定理

$(a+b)^4$ の展開式における a^3b の係数は，パスカルの三角形から 4 である。

これを組合せの考え方を利用して求めてみよう。

$$(a+b)^4 \quad \text{すなわち} \quad \underset{①}{(a+b)}\underset{②}{(a+b)}\underset{③}{(a+b)}\underset{④}{(a+b)}$$

を展開して得られる項は，4 個の因数 ①，②，③，④ のそれぞれから，a か b のどちらかを取り出して掛け合わせた積である。

①	②	③	④	
a ×	a ×	a ×	b	$= a^3b$
a ×	a ×	b ×	a	$= a^3b$
a ×	b ×	a ×	a	$= a^3b$
b ×	a ×	a ×	a	$= a^3b$

たとえば，a^3b の項は，4 個の因数のうち 1 個の因数を選んで b を取り出し，残り 3 個の因数から a を取り出して掛け合わせることにより得られる。

すなわち，4 個の因数から 1 個の因数を選ぶ選び方の数だけ a^3b の項ができる。したがって，a^3b の項は ${}_4\mathrm{C}_1 = 4$（個）現れるから，a^3b の係数は ${}_4\mathrm{C}_1$ である。

同様に考えると，$(a+b)^4$ の展開式におけるすべての項

$$a^4,\ a^3b,\ a^2b^2,\ ab^3,\ b^4$$

の係数はそれぞれ

$${}_4\mathrm{C}_0,\ {}_4\mathrm{C}_1,\ {}_4\mathrm{C}_2,\ {}_4\mathrm{C}_3,\ {}_4\mathrm{C}_4$$

である。一般に，次の **二項定理** が成り立つ。

二項定理

$$(a+b)^n = {}_n\mathrm{C}_0a^n + {}_n\mathrm{C}_1a^{n-1}b + {}_n\mathrm{C}_2a^{n-2}b^2 + \cdots + {}_n\mathrm{C}_ra^{n-r}b^r + \cdots + {}_n\mathrm{C}_{n-1}ab^{n-1} + {}_n\mathrm{C}_nb^n$$

$(a+b)^n$ の展開式における項は，一般に

$${}_n\mathrm{C}_ra^{n-r}b^r \quad (r = 0,\ 1,\ 2,\ \cdots,\ n)$$

と表される。これを $(a+b)^n$ の展開式の **一般項** という。ただし，a^0 や b^0 は 1 と定める。また，${}_n\mathrm{C}_r$ を **二項係数** ともいう。

例 5　二項定理を用いて式を展開すると，次のようになる。

(1)　$(2a+b)^5={}_5\mathrm{C}_0(2a)^5+{}_5\mathrm{C}_1(2a)^4b^1+{}_5\mathrm{C}_2(2a)^3b^2$

$$+{}_5\mathrm{C}_3(2a)^2b^3+{}_5\mathrm{C}_4(2a)^1b^4+{}_5\mathrm{C}_5b^5$$

$$=32a^5+80a^4b+80a^3b^2+40a^2b^3+10ab^4+b^5$$

(2)　$(x-5y)^3={}_3\mathrm{C}_0x^3+{}_3\mathrm{C}_1x^2(-5y)^1+{}_3\mathrm{C}_2x^1(-5y)^2+{}_3\mathrm{C}_3(-5y)^3$

$$=x^3-15x^2y+75xy^2-125y^3$$

問 9　二項定理を用いて，次の式を展開せよ。

(1)　$(3a+b)^4$　　(2)　$(2x-3y)^4$　　(3)　$(2x^2+1)^5$

また，パスカルの三角形のつくり方から，${}_n\mathrm{C}_r={}_{n-1}\mathrm{C}_{r-1}+{}_{n-1}\mathrm{C}_r$ が成り立つことがわかる。

$$\begin{array}{lcc} n-1 & {}_{n-1}\mathrm{C}_{r-1} & {}_{n-1}\mathrm{C}_r \\ & \diagdown & \diagup \\ n & & {}_n\mathrm{C}_r \end{array}$$

二項定理の応用

二項定理を応用して，項の係数を求めてみよう。

例題 1　　二項定理［1］

$(2x^2-1)^8$ の展開式における x^6 の係数を求めよ。

解　$(2x^2-1)^8$ の展開式における一般項は

$$\begin{aligned}{}_8\mathrm{C}_r(2x^2)^{8-r}(-1)^r&={}_8\mathrm{C}_r2^{8-r}(x^2)^{8-r}(-1)^r\\&={}_8\mathrm{C}_r2^{8-r}x^{2(8-r)}(-1)^r\\&={}_8\mathrm{C}_r2^{8-r}(-1)^rx^{16-2r}\end{aligned}$$

ここで，$16-2r=6$ となるのは，$r=5$ のときであるから，x^6 の係数は

$$\begin{aligned}{}_8\mathrm{C}_52^{8-5}(-1)^5&=56\cdot2^3\cdot(-1)^5\\&=-448\end{aligned}$$

問10　次の式を展開したとき，それぞれ指定された項の係数を求めよ。

(1)　$(3x^2+2)^6$ における x^2　　(2)　$(x-3y)^7$ における x^2y^5

応用例題 2　　二項定理［2］

$(x+y+z)^6$ の展開式における x^2y^3z の係数を求めよ。

考え方　$x+y$ を 1 つのものと考えて，$\{(x+y)+z\}^6$ を展開する。

解　$\{(x+y)+z\}^6$ の展開式の一般項は

$$ {}_6\mathrm{C}_r\,(x+y)^{6-r}z^r $$

z の次数に着目すると，x^2y^3z が現れるのは $r=1$ のときだけで

$$ {}_6\mathrm{C}_1\,(x+y)^5 z $$

$(x+y)^5$ を展開したときの x^2y^3 の係数は ${}_5\mathrm{C}_3$ であるから，x^2y^3z の係数は

$$ {}_6\mathrm{C}_1 \times {}_5\mathrm{C}_3 = 60 $$

問11　$(x+2y+3z)^5$ の展開式における x^2y^2z および x^3y^2 の係数を求めよ。

また，例題 2 の x^2y^3z の項は，6 個の因数

$$ \underset{①}{(x+y+z)}\underset{②}{(x+y+z)}\underset{③}{(x+y+z)}\underset{④}{(x+y+z)}\underset{⑤}{(x+y+z)}\underset{⑥}{(x+y+z)} $$

から 2 個の因数を選んで x を取り出し，残り 4 個の因数から 3 個の因数を選んで y を取り出し，最後に残った 1 個の因数から z を取り出して掛け合わせることによっても得られる。

したがって，x^2y^3z の係数は

$$ {}_6\mathrm{C}_2 \times {}_4\mathrm{C}_3 \times {}_1\mathrm{C}_1 = \frac{6!}{2!4!} \times \frac{4!}{3!1!} \times 1 = \frac{6!}{2!3!1!} $$

一般に，次の定理が成り立つ。

$(a+b+c)^n$ の展開

$(a+b+c)^n$ の展開式の一般項は

$$ \frac{n!}{p!q!r!}a^pb^qc^r \qquad ただし，p+q+r=n $$

例 6　$(x-2y+3z)^5$ の展開式における xy^2z^2 の係数を求めてみよう。

展開式における xy^2z^2 の項は

$$\frac{5!}{1!2!2!}x(-2y)^2(3z)^2$$

であるから，xy^2z^2 の係数は

$$\frac{5!}{1!2!2!}\cdot(-2)^2\cdot 3^2 = 1080$$

問12　$(x-y+2z)^7$ の展開式における $x^2y^3z^2$ の係数を求めよ。

二項定理を用いて，${}_n\mathrm{C}_r$ のさまざまな性質を導くことができる。

まず，次の等式について考えてみよう。

$$2^1 = 1+1 = {}_1\mathrm{C}_0+{}_1\mathrm{C}_1$$

$$2^2 = 1+2+1 = {}_2\mathrm{C}_0+{}_2\mathrm{C}_1+{}_2\mathrm{C}_2$$

$$2^3 = 1+3+3+1 = {}_3\mathrm{C}_0+{}_3\mathrm{C}_1+{}_3\mathrm{C}_2+{}_3\mathrm{C}_3$$

$$\cdots$$

一般に，$2^n = {}_n\mathrm{C}_0+{}_n\mathrm{C}_1+{}_n\mathrm{C}_2+\cdots+{}_n\mathrm{C}_n$ が成り立つ。

これを示してみよう。

例 7　二項定理

$$(a+b)^n = {}_n\mathrm{C}_0a^n+{}_n\mathrm{C}_1a^{n-1}b+{}_n\mathrm{C}_2a^{n-2}b^2+\cdots$$
$$+{}_n\mathrm{C}_ra^{n-r}b^r+\cdots+{}_n\mathrm{C}_nb^n$$

において，$a=1$，$b=x$ とおくと

$$(1+x)^n = {}_n\mathrm{C}_0+{}_n\mathrm{C}_1x+{}_n\mathrm{C}_2x^2+\cdots+{}_n\mathrm{C}_rx^r+\cdots+{}_n\mathrm{C}_nx^n$$

さらに，$x=1$ を代入すると

$$2^n = {}_n\mathrm{C}_0+{}_n\mathrm{C}_1+{}_n\mathrm{C}_2+\cdots+{}_n\mathrm{C}_n$$

問13　次の等式が成り立つことを示せ。

(1)　$3^n = {}_n\mathrm{C}_0+2\cdot{}_n\mathrm{C}_1+2^2\cdot{}_n\mathrm{C}_2+\cdots+2^n\cdot{}_n\mathrm{C}_n$

(2)　$0 = {}_n\mathrm{C}_0-{}_n\mathrm{C}_1+{}_n\mathrm{C}_2-\cdots+(-1)^n\cdot{}_n\mathrm{C}_n$

→ p.58 練習問題1

3 整式の除法

整数 a と正の整数 b に対して，a を b で割った商が q，余りが r であるとき

$$a = bq + r, \qquad 0 \leqq r < b$$

が成り立つ。

たとえば，$172 \div 7$ を計算すると商は 24，余りは 4 である。

$$\begin{array}{rrl}
 & 24 & \\
7 \,\big) & 172 & \\
 & 140 & \cdots 7 \times 20 \\ \hline
 & 32 & \\
 & 28 & \cdots 7 \times 4 \\ \hline
 & 4 &
\end{array}$$

このとき

$$172 = 7 \times 24 + 4$$ ◀割る数×商＋余り

である。同じような計算を整式で行うことを考えてみよう。

例 8　整式 $A = 2x^2 - 7x + 5$，整式 $B = x - 3$ のとき，A を B で割ると次のようになる。

$$\begin{array}{rrl}
 & 2x \quad -1 & \\
x-3 \,\big) & 2x^2 - 7x + 5 & \\
 & 2x^2 - 6x \phantom{{}+5} & \cdots (x-3) \times 2x \\ \hline
 & -x + 5 & \\
 & -x + 3 & \cdots (x-3) \times (-1) \\ \hline
 & 2 &
\end{array}$$

最後の行に現れた 2 は，割る式 $x-3$ よりも次数が低いから，これ以上計算を続けることはできない。

このとき，A を B で割ったときの **商** は $2x-1$，**余り** は 2 であるという。上の割り算から

$$A = B \times (2x-1) + 2$$ ◀割る式×商＋余り　……①

が成り立つことがわかる。

問14　整式 $3x^2 + 2x + 1$ を整式 $3x - 4$ で割り，商と余りを求めよ。また，例 8 にならって，整式 $3x^2 + 2x + 1$ を ① の形に表せ。

一般に，整式Aを0でない整式Bで割ったときの商をQ，余りをRとすると，次の式が成り立つ。

商と余り

$$A = BQ + R,\qquad R\text{の次数} < B\text{の次数}$$

このようなQ，Rはただ1つ定まる。

とくに，$R=0$ となるとき，AはBで **割り切れる** という。このとき，BはAの **因数** であるという。

例題 3　整式の除法［1］

次の整式Aを整式Bで割り，商と余りを求めよ。

$$A = 2x^3+4x^2+7,\qquad B = 2x^2-3$$

解

$$
\begin{array}{rl}
 & x\;\;+2 \\
2x^2\;\boxed{}-3\;\big) & 2x^3+4x^2\;\boxed{}+\;\;7 \\
 & 2x^3\;\boxed{}-3x \\ \hline
 & \qquad\quad 4x^2+3x+\;\;7 \\
 & \qquad\quad 4x^2\;\boxed{}-\;\;6 \\ \hline
 & \qquad\qquad\quad 3x+13
\end{array}
$$

◀項がないときはあけておく

〈答〉　商 $x+2$，　余り $3x+13$

注意　このような計算では，割る式も割られる式も，文字xについて降べきの順に整理しておくとよい。

問15　次の整式Aを整式Bで割り，商と余りを求めよ。

(1)　$A = 2x^3-7x^2+3x+8$，　$B = x^2-x-3$

(2)　$A = 6x^3-x^2-5x+2$，　$B = 3x-2$

(3)　$A = 3x^3+7x^2+5$，　$B = x^2+3x-1$

(4)　$A = 2+3x+2x^3+x^4$，　$B = 1+x^2$

→ p.19 問題4

例題 4　　整式の除法［2］

整式 x^3-3x^2-6x-2 をある整式 B で割ると，商が $x+2$，余りが $3x-4$ である。このとき，整式 B を求めよ。

解　$x^3-3x^2-6x-2=B(x+2)+(3x-4)$

が成り立つから

$B(x+2)=(x^3-3x^2-6x-2)-(3x-4)$

$\qquad\qquad=x^3-3x^2-9x+2$

よって，x^3-3x^2-9x+2 を $x+2$ で割って

$\qquad B=x^2-5x+1$

$$
\begin{array}{r}
x^2-5x+1 \\
x+2\,\big)\,\overline{x^3-3x^2-9x+2} \\
\underline{x^3+2x^2} \\
-5x^2-9x \\
\underline{-5x^2-10x} \\
x+2 \\
\underline{x+2} \\
0
\end{array}
$$

問16　整式 $3x^3+14x^2-4x+5$ をある整式 B で割ると，商が $3x-1$，余りが $7x+3$ である。このとき，整式 B を求めよ。　→ p.19 問題5

2 種類以上の文字を含む整式についても，その中の 1 つの文字に着目して，割り算を行うことができる。

応用例題 5　　2 種類の文字を含む整式の除法

$A=2x^3-5x^2y+6xy^2-8y^3$，$B=x-2y$ を x についての整式と考えて，整式 A を整式 B で割り，商と余りを求めよ。

解

$$
\begin{array}{r}
2x^2-xy+4y^2 \\
x-2y\,\big)\,\overline{2x^3-5x^2y+6xy^2-8y^3} \\
\underline{2x^3-4x^2y} \\
-x^2y+6xy^2 \\
\underline{-x^2y+2xy^2} \\
4xy^2-8y^3 \\
\underline{4xy^2-8y^3} \\
0
\end{array}
$$

〈答〉　商 $2x^2-xy+4y^2$，　余り 0

問17　$A=x^3-2x^2y-xy^2+2y^3$，$B=x-y$ を x についての整式と考えて，整式 A を整式 B で割り，商と余りを求めよ。

4 分数式とその計算

$\dfrac{1}{x}$，$\dfrac{x+1}{x^2-3}$ のように，Aを整式，Bを1次以上の整式としたとき，

$\dfrac{A}{B}$ の形で表される式を **分数式** という。

整式と分数式を合わせて **有理式** という。

約分

Cが0でない整式のとき，分数式 $\dfrac{AC}{BC}$ に対し

$$\frac{AC}{BC}=\frac{A}{B}$$

が成り立つ。すなわち，分母と分子に共通な因数があれば **約分** ができる。

これ以上約分できないとき，分数式は **既約** であるという。

例 9

(1) $\dfrac{9a^3b}{12a^2b^3}=\dfrac{3a}{4b^2}$

(2) $\dfrac{x^2+7x+12}{x^2+x-6}=\dfrac{(x+3)(x+4)}{(x+3)(x-2)}$

$$=\frac{x+4}{x-2}$$

問18 次の分数式を約分して，既約な分数式になおせ。

(1) $\dfrac{12a^4bc^2}{15a^3b^3c}$　(2) $\dfrac{2x^2+3x-2}{4x^2-1}$　(3) $\dfrac{x^3+1}{x^2+4x+3}$

乗法・除法

分数式の乗法，除法は次のようにする。

$$\frac{A}{B}\times\frac{C}{D}=\frac{AC}{BD}$$

$$\frac{A}{B}\div\frac{C}{D}=\frac{A}{B}\times\frac{D}{C}=\frac{AD}{BC}$$

例 10

$$\frac{x-5}{x^2-x} \div \frac{x^2-10x+25}{x^2-4x} = \frac{x-5}{x^2-x} \times \frac{x^2-4x}{x^2-10x+25}$$

$$= \frac{x-5}{x(x-1)} \times \frac{x(x-4)}{(x-5)^2}$$

$$= \frac{x-4}{(x-1)(x-5)}$$

注意　分数式の計算で得られた結果は，既約な分数式になおしておく。

問19　次の式を計算せよ。

(1) $\dfrac{x^2-3x}{x^2+x-2} \times \dfrac{x-1}{x^2+2x}$　　(2) $\dfrac{x^3-8}{x^2+4x+4} \div \dfrac{x^2-3x+2}{x^2+3x+2}$

加法・減法

分母が等しい分数式の加法，減法は次のようにする。

$$\frac{A}{C} + \frac{B}{C} = \frac{A+B}{C}$$

$$\frac{A}{C} - \frac{B}{C} = \frac{A-B}{C}$$

例 11

$$\frac{3}{x^2-4} - \frac{x+1}{x^2-4} = \frac{3-(x+1)}{x^2-4}$$

$$= \frac{-(x-2)}{(x+2)(x-2)}$$

$$= -\frac{1}{x+2}$$

問20　次の式を計算せよ。

(1) $\dfrac{x^2+3x+1}{x^2+5x+6} - \dfrac{x^2+x-3}{x^2+5x+6}$　　(2) $\dfrac{x-1}{x^2-x} + \dfrac{x^2-x+1}{x^2-x}$

いくつかの分数式の分母が異なるときには，適当な整式をそれらの分母と分子に掛けて，分母が同じ分数式になおすことができる。このことを，これらの分数式を **通分** するという。

例題 6　　分数式の計算

$\dfrac{3}{x^2+3x}+\dfrac{x+1}{x^2-x}$ を計算せよ。

解

$$\frac{3}{x^2+3x}+\frac{x+1}{x^2-x}=\frac{3}{x(x+3)}+\frac{x+1}{x(x-1)}$$

$$=\frac{3(x-1)}{x(x+3)(x-1)}+\frac{(x+1)(x+3)}{x(x-1)(x+3)}$$

$$\begin{array}{lcl} x(x+3) & \longrightarrow & x\ (x+3) \\ x(x-1) & \longrightarrow & x\ \ (x-1) \\ \hline & & x\ (x+3)\ (x-1) \end{array}$$

$$=\frac{(3x-3)+(x^2+4x+3)}{x(x+3)(x-1)}$$

$$=\frac{x^2+7x}{x(x+3)(x-1)}=\frac{x(x+7)}{x(x+3)(x-1)}=\frac{x+7}{(x+3)(x-1)}$$

問21　次の式を計算せよ。

(1) $\dfrac{1}{x+3}+\dfrac{3}{x-4}$　　(2) $\dfrac{2x}{x^2-1}-\dfrac{3x}{2x^2+x-1}$

分母や分子に分数式を含む式について考えてみよう。

例 12

$P=\dfrac{1+\dfrac{1}{x}}{1-\dfrac{1}{x^2}}$ の右辺は $\left(1+\dfrac{1}{x}\right)\div\left(1-\dfrac{1}{x^2}\right)$ であるから

$$P=\left(1+\frac{1}{x}\right)\div\left(1-\frac{1}{x^2}\right)=\frac{x+1}{x}\div\frac{x^2-1}{x^2}$$

$$=\frac{x+1}{x}\times\frac{x^2}{(x+1)(x-1)}=\frac{x}{x-1}$$

注意　P の分母と分子に x^2 を掛けて，次のように計算してもよい。

$$P=\frac{\left(1+\dfrac{1}{x}\right)\times x^2}{\left(1-\dfrac{1}{x^2}\right)\times x^2}=\frac{x^2+x}{x^2-1}=\frac{x(x+1)}{(x+1)(x-1)}=\frac{x}{x-1}$$

問22　次の式を簡単にせよ。

(1) $\dfrac{a+2}{a-\dfrac{2}{a+1}}$　　(2) $\dfrac{1-\dfrac{x+y}{x-y}}{1+\dfrac{x+y}{x-y}}$

問 題

1　次の式を展開せよ。

(1)　$(2a-3b)^3$　　(2)　$(4a-3b)(16a^2+12ab+9b^2)$

2　次の式を因数分解せよ。

(1)　$x^3y^3-27z^3$　　(2)　$x^3+y^3+3y^2+3y+1$

3　次の式を展開したとき，それぞれ指定された項の係数を求めよ。

(1)　$(ax-b)^{12}$ における x^{11} および x^2　（ただし，a，b は定数とする）

(2)　$(x-2y+z^2)^7$ における $x^2y^3z^4$

4　次の整式 A を整式 B で割り，商と余りを求めよ。

(1)　$A=12x^3-x^2+2$,　　$B=3x^2-x-1$

(2)　$A=6x^3+x^2-2x+1$,　　$B=3x-1$

(3)　$A=x^3-5x^2+8x+1$,　　$B=2x-6$

5　ある整式 A を $2x^2+4x-3$ で割ると，商が $x-2$，余りが $3x+1$ である。このとき，整式 A を求めよ。

6　次の式を計算せよ。

(1)　$\dfrac{6x^2+13xy-5y^2}{2x^2-xy-3y^2}\div\dfrac{3x^2+2xy-y^2}{2x^2-5xy+3y^2}$

(2)　$\dfrac{x^2+6x+9}{x^2+3x+9}\times\dfrac{x^3-27}{3x+9}\div\dfrac{x^2-9}{3x}$

(3)　$\dfrac{1}{x-1}-\dfrac{1}{x+1}-\dfrac{2}{x^2+1}$

(4)　$\left(\dfrac{1}{x+1}-\dfrac{2}{x+2}\right)\div\left(\dfrac{2}{x+2}-\dfrac{3}{x+3}\right)$

(5)　$\dfrac{1}{1+\dfrac{1}{1+\dfrac{1}{a+1}}}$